

朝鮮人「BC級戦犯」148人

!チェ・ウンソ記者「承認」2011.01.03

捕虜監視員の痛み誰も知らない



▲戦犯で起訴された朝鮮人。

第二次世界大戦当時、日本の東南アジア侵略過程で捕虜監視員などで強制動員された朝鮮人148人が従前以後、連合国国際戦犯裁判を通じて戦犯とみなされ、実刑に処されたことが確認された。昨年12月28日、鄭釜山下対日抗争機強制動員被害調査および国外強制動員犠牲者など支援委員会は2005年から始まった「朝鮮人BC級戦犯真相調査」を完了して報告書を出した。この報告書を通じて、日本によって捕虜監視員に動員され、国際戦犯裁判で戦犯として死刑になるなど、二重の被害を受けたBC級戦犯らの虐待の歳月を覗いた。

委員会によると、日本が朝鮮人を連合軍捕虜監視員に動員した背景は、まず日本自体の戦闘兵力が不足したためだった。捕虜の過酷な労役など虐待問題が終戦後問題視されることを憂慮し、捕虜監視員を朝鮮人として充当したという意見も出ている。一言で戦争責任を朝鮮人に転嫁させようとしたわけだ。

実際に終戦後、朝鮮人たちは捕虜虐待などを理由に国際戦犯裁判でBC級戦犯で実刑が言い渡され、さらに死刑に処されたりもした。これに対し、日本は捕虜虐待に関連する日本人を終戦直前に他の場所に転出

させて責任を回避したことが明らかになった。

当時、連合軍が作成した国際軍事裁判条例は、犯罪の形態をA項「平和に反化する罪」、B項「通常の戦争犯罪」、C項「平和に反する罪」と規定した。このうちB項とC項の罪を犯した者をBC級戦犯と呼んだ。

支援と募集 ハウル書いた強制動員

日本は1940年9月、北部ベトナムに対する攻撃を皮切りに、東南アジア侵略過程で発生した30万人の連合軍を捕虜とした。彼らは捕虜を管理するという名目の下、タイとマレーシア、インドネシア、フィリピン、満州、台湾、朝鮮半島などに捕虜収容所を設置した。

朝鮮人たちは1942年5月から捕虜監視員として動員された。捕虜監視員出身でBC級戦犯で処罰された李学ラ氏は「村で二人を出せようという上部の圧力もあって、捕虜監視員募集に応じた」と証言した。当時は多くの青年年層が炭鉱あるいは製鉄所に連れて行かれる状況であり、捕虜監視員募集公告で提示した50ウォンの給料は朝鮮人たちに相当な誘惑として作用した。

委員会によると、この募集は受付・選考・長行会（出正式）・軍最終審査など4段階にわたって行われた。

この過程で選択の余地がなかった朝鮮人青年たちを相手に持続的な宣伝と扇動、回遊と脅迫、地域割り当てなどの手段が動員された。委員会は「捕虜監視員募集が支援と募集の虚偽を書いた強制動員だった」と強調した。

日本は一定の学力以上を備え、特に日本語ができる人を優待した。捕虜監視員選抜は表面上では募集形式を取ったが、実際には朝鮮総督府が地域別選考で各地域間の割り当てと競争を助長した強制動員だった。

捕虜監視員に選ばれた朝鮮人3000人余りは2ヶ月間軍事訓練を経た後、東南アジア一帯に建てられた捕虜収容所に配置された。

捕虜監視員となった朝鮮人たちは、日本軍と連合軍捕虜の間で加害者であり、被害者の役割を果たさなければならなかった。しかし、これらはすべて日帝による強制動員被害者であり、捕虜収容所でも日本軍の命令を受ける立場だった。

加害者と被害者の役割を果たす

第二次大戦が終わった後、朝鮮人捕虜監視員は戦犯で処罰された。ポツダム宣言の第10項「私たちの捕虜を虐待した者を含む一切の戦犯に対して厳重な処罰を加える」によるものだった。3000人の捕虜監視員のうち129人が国際軍事制版で処罰された。

戦犯判決を受けた朝鮮人は全員148人でゲリラ戦を遂行した軍人3人、中国戦線で通訳した16人の日本軍通訳者、捕虜監視員として働いた軍務員129人だ。このうち23人は死刑となり、残りの125人は1947年から1957年にかけて満期または減刑で釈放された。

委員会は「朝鮮人の連合軍捕虜虐待行為が事実として存在するということは否定できない。この事実に対して一定の責任を監修しなければならないのが道理だろう」としながらも「これらがすべての責任を負って死刑まで受けなければならなかったかの問題は解決されない。

委員会によると、BC級で処罰された朝鮮人のうち委員会で昨年12月までに合計87人が被害判定を受けた。129人の捕虜監視員の中には86人が被害判定を受けた。

日本政府もこれらの外面

BC級で処罰された朝鮮人たちは「同陣会」という集まりを作り、日本政府に悔しさを訴え、賠償を要求した。だが、日本は現在までもこれらを見放したまま何の答えを与えていない。

日本はサンフランシスコ強化条約で敗戦国のヨークを脱いだが、捕虜監視員に動員された彼らは依然として戦犯のままである。

委員会は「委員会がBC級戦犯を強制動員被害者として認める決定を下した。この決定は、韓国政府が戦犯裁判の結果に関係なく、彼らの被害事実を公式化したという点に意義がある」と伝えた。

[チェ・ウンソ記者] choies@dailypot.co.kr



チェ・ウンソ記者(お問い合わせjapan@dailypot.co.kr)